

上越教育大学関係者執筆による
特別支援教育と多様な障害の基本的理解をもたらす必携書

2018 新刊

執筆者・担当一覧 (五十音順)

編者		
河合 康	(上越教育大学・教授)	I 部扉・I 部① 1・② 1・③
小宮 三彌	(健康科学大学・特任教授)	II 部扉・II 部③
.....		
池田 吉史	(上越教育大学・助教)	III 部②
笠原 芳隆	(上越教育大学・教授)	I 部④ 7・II 部④
小林 優子	(上越教育大学・准教授)	II 部②
坂口 嘉菜	(上越教育大学・助教)	コラム 3
佐藤 将朗	(上越教育大学・准教授)	II 部①
里見 達也	(山梨県立大学・准教授)	II 部⑧
長澤 正樹	(新潟大学・教授)	I 部④ 6・III 部扉・III 部①
藤井 和子	(上越教育大学・准教授)	I 部④ 8・II 部⑥
三浦 光哉	(山形大学・教授)	I 部② 2・④ 2・3
村中 智彦	(上越教育大学・准教授)	I 部④ 4・II 部⑦・III 部③
八島 猛	(上越教育大学・准教授)	I ④ 5・II ⑤
吉利 宗久	(岡山大学・准教授)	I 部① 2・④ 1

わかりやすく学べる
特別支援教育と障害児の心理・行動特性

2018年4月10日 初版第1刷発行

編著者 河 合 康
小 宮 三 彌

発行者 木 村 哲 也

・定価はカバーに表示 印刷 恵友社／製本 新灯印刷

発行所 株式会社 北 樹 出 版

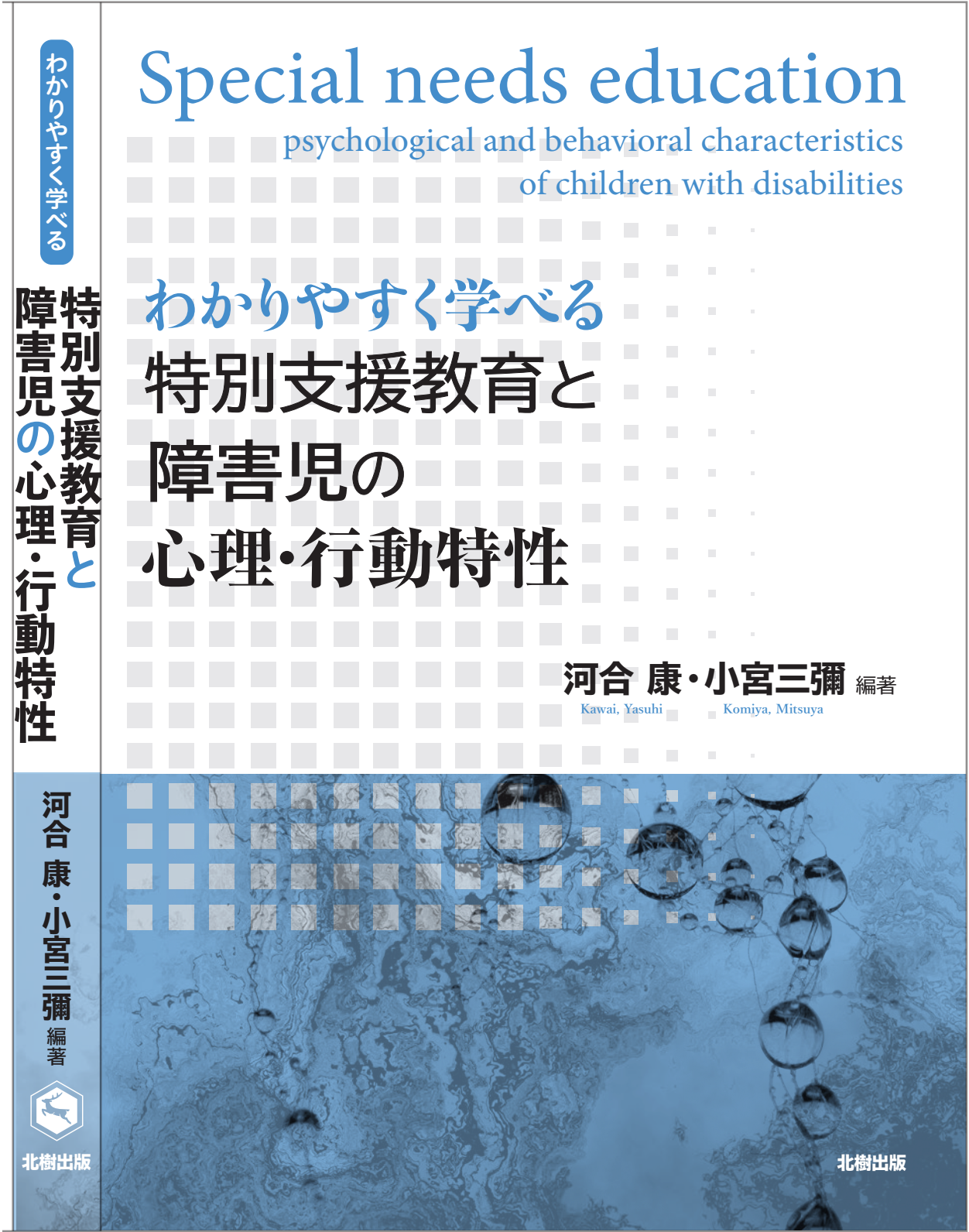
URL: <http://www.hokuju.jp>

〒153-0061 東京都目黒区中目黒1-2-6 電話 (03) 3715-1525 (代表)

© Yasushi Kawai & Mitsuya Komiya 2018, Printed in Japan
ISBN978-4-7793-0561-0
(落丁・乱丁の場合はお取り替えます)

定価 本体2400円＋税 全210頁

目次は裏面へ



【内容構成】 わかりやすく学べる特別支援教育と障害児の心理・行動特性（北樹出版）

目次

第Ⅰ部 特別支援教育の基本的理解

- [1]** 特別支援教育とは
 1. 障害のある子どもに対する教育の歩みと意義
 - (1) 外国における障害のある子どもの教育の始まりと展開
 - (2) 日本の戦前における障害のある子どもへの教育の始まりと展開
 - (3) 戦後における特殊教育の始まりと展開
 - (4) 特殊教育から特別支援教育への転換
 2. 特別支援教育とインクルーシブ教育
 - (1) インクルーシブ教育の登場と進展
 - (2) わが国のインクルーシブ教育に対する取り組み
 - (3) 今後の課題
- [2]** 特別支援教育の制度
 1. 特別支援教育の法的位置づけ
 - (1) 法律の体系と日本国憲法・教育基本法
 - (2) 学校教育法における特別支援教育に関する規定
 2. 多様な学びの場における教育形態
 - (1) 特別支援学校
 - (2) 特別支援学級
 - (3) 通級指導教室
 - (4) 通常の学級
- [3]** 特別支援教育をめぐる教育課程
 1. 教育課程とは
 2. 特別支援学校（旧、盲学校、聾学校、養護学校）の学習指導要領
 - (1) 歴史の変遷
 - (2) 特別支援学校学習指導要領の構成と内容
 - (3) 柔軟で弾力的な教育課程の編成
 3. 通常の学校における特別支援教育をめぐる教育課程
- [4]** 特別支援教育の課題と展望
 1. 合理的配慮
 - (1) 「合理的配慮」とは
 - (2) 「合理的配慮」と「基礎的環境整備」の関係
 - (3) 「合理的配慮」の具体例と対象
 2. 交流及び共同学習
 - (1) 学習指導要領や報告書等での交流及び共同学習の変遷
 - (2) 交流及び共同学習の実際
 3. キャリア教育
 - (1) キャリア教育の背景
 - (2) キャリア教育の取り組みと推進の手順
 - (3) キャリア教育の課題
 - (4) キャリア教育と障害者雇用
 4. 授業づくり・支援ツール
 - (1) 子どもが「わかる・動ける」授業づくり
 - (2) 「わかる・動ける」授業づくりのステップ
 - (3) 支援ツールの活用
 5. 医療的ケア
 - (1) 学校における医療的ケア
 - (2) 教員等が特定行為を行うための手続き
 - (3) 特別支援学校における医療的ケアの現状
 - (4) 今後の課題
 6. 個に応じた指導
 - (1) 個々の違いとその対応
 - (2) 個に応じた指導のために
 7. 関係機関・保護者との連携
 - (1) チームで進める特別支援教育
 - (2) 関係機関との連携
 - (3) 保護者との連携

8. 自立活動
 - (1) 特別支援教育における自立活動の位置づけ
 - (2) 学校における自立活動
 - (3) 自立活動の目標と内容
 - (4) 個別の指導計画作成

第Ⅱ部 障害児（者）の基本的理解

- [1]** 視覚障害
 1. 視覚障害の概要
 - (1) 視覚障害の定義
 - (2) 視覚障害の分類
 2. 視覚障害児（者）の心理・行動特性
 - (1) 触覚的認知
 - (2) 視覚表彰
 - (3) 知識・概念形成
 - (4) 言語
 - (5) 行動・動作
 - (6) 視覚的認知
 3. 視覚障害児（者）への支援
 - (1) 基本的視点
 - (2) 探索能力の向上
 - (3) 読み書き指導
 - (4) 歩行能力の向上
 - (5) 盲人としての生活への適応
- [2]** 聴覚障害
 1. 聴覚障害の概要
 - (1) 音を聞く仕組み
 - (2) 聴覚障害の原因
 - (3) 聴覚障害の評価法
 2. 聴覚障害児（者）の心理・行動特性
 - (1) 音声の知覚
 - (2) 認知・社会性の発達
 - (3) 障害認識・障害受容
 3. 聴覚障害児（者）への支援
 - (1) 聴覚障害児のための教育の場
 - (2) 聴覚活用・発声発音指導
 - (3) 視覚的なコミュニケーション手段（手話・指文字）
- [3]** 知的障害
 1. 知的障害の概要
 - (1) 用語について
 - (2) 知的障害の定義
 - (3) 知的障害の原因
 2. 知的障害児（者）の心理・行動特性
 - (1) 知的特徴
 - (2) 身体面と運動機能面の特徴
 - (3) 抽象能力と概念化
 3. 知的障害児（者）への支援
 - (1) 早期発見・早期療育および保育者の支援
 - (2) 運動機能
 - (3) 知覚機能や類概念化を高めること
- [4]** 肢体不自由（運動障害）
 1. 肢体不自由の概要
 - (1) 運動とその発達
 - (2) 肢体不自由（運動障害）とは
 - (3) 肢体不自由起因疾患
 - (4) 日常生活動作と肢体不自由児（者）
 2. 肢体不自由児（者）の心理・行動特性
 - (1) 肢体不自由児（者）の心理・行動特性
 - (2) 脳性疾患（脳性まひ）児（者）の心理・行動特性
 3. 肢体不自由児（者）への支援

- (1) 支援の手順とポイント
 - (2) 支援の内容例
- [5]** 病弱・身体虚弱
 1. 病弱・身体虚弱の概要
 - (1) 病弱・身体虚弱とは
 - (2) 病弱教育とは
 - (3) 病弱児（者）の病気の種類
 2. 病弱児（者）の心理・行動特性
 - (1) 乳児期
 - (2) 幼児期前記
 - (3) 幼児期後期
 - (4) 児童期
 - (5) 青年期
 3. 病弱児（者）への支援
 - (1) 自己管理の支援
 - (2) 自尊感情の支援
- [6]** 言語障害
 1. 言語障害の概要
 - (1) 構音障害とは
 - (2) 吃音
 - (3) 言語発達の遅れ
 2. 言語障害児（者）の心理・行動特性
 3. 言語障害児（者）への支援
 - (1) 言語障害のある児童生徒への支援における教師の態度
 - (2) 自立活動としての言語障害児への指導
 - (3) 個別の指導計画に基づく指導
- [7]** 情緒障害
 1. 情緒障害の概要
 - (1) 情緒障害と関連用語
 - (2) ED の定義
 2. 情緒障害児（者）の心理・行動特性
 - (1) ED 児に見られる中核症状
 - (2) ED 児見られる周辺症状
 3. 情緒障害児（者）への支援
 - (1) 情緒障害児短期治療施設での支援
 - (2) 学校教育での支援
 - (3) 選択性かん然児への支援
 - (4) ED 児への適応状態を高める支援
- [8]** 重複障害
 1. 重複障害の概要
 - (1) 重複障害
 - (2) 重症心身障害
 - (3) 重度・重複障害
 2. 重複障害児（者）の心理・行動特性
 - (1) 発達の特性
 - (2) コミュニケーションの特性
 - (3) 行動の特性
 3. 重複障害児（者）への支援
 - (1) 重症心身障害児の医療・福祉的な支援の考え方
 - (2) 重度・重複障害児教育の指導の考え方
 - (3) 事例を通した重複障害児の支援の実例

Ⅲ部 発達障害児（者）の基本的理解

- [1]** 学習障害（LD）
 1. 学習障害の概要
 - (1) 学習障害の定義
 - (2) 学習困難（Learning difficult）という捉え方
 - (3) 学習障害の原因、出現率
 - (4) 学習障害の判断
 2. 学習障害児（者）の心理・行動特性

3. 学習障害児（者）への支援：三層モデル
 - (1) 一次支援
 - (2) 二次支援（小集団・個別学習指導）
 - (3) 三次支援
 - (4) 合理的配慮と AT（Assistive technology）の活用
- [2]** 注意欠陥多動性障害
 1. 注意欠陥多動性障害の概要
 - (1) 定義
 - (2) 概念
 - (3) 出現率
 - (4) 原因
 - (5) 併存症
 2. 注意欠陥多動性障害児（者）の心理・行動特性
 - (1) 脳病理
 - (2) 認知機能
 - (3) 二次的な困難
 3. 注意欠陥多動性障害児（者）への支援
 - (1) 実態把握
 - (2) 薬物療法
 - (3) 行動療法
- [3]** 自閉症スペクトラム障害
 1. 自閉症スペクトラム障害の概要
 - (1) 診断基準
 - (2) スペクトラム
 - (3) 有病率
 - (4) 高機能自閉症
 - (5) 発生要因
 2. 自閉症スペクトラム児（者）の心理・行動特性
 - (1) 言語コミュニケーション障害と心の理論
 - (2) 感覚知覚異常
 3. 自閉症スペクトラム障害児（者）への支援
 - (1) 自閉症教育の始まり
 - (2) 現在の自閉症教育
 - (3) TEACCH プログラムによる支援
 - (4) 視覚手がかりによる支援

- コラム 1 「特別な教育的ニーズ」の語源
コラム 2 CVI と視覚・重複障害
コラム 3 聴覚障害児の言語指導
コラム 4 早期告知、即親の指導・支援体制
コラム 5 ローテク・ハイテクどちらも大切「アシスティブ・テクノロジー」
コラム 6 「やる気」と炎症性サイトカイン
コラム 7 ひとさじごとのやりとりで育む主体性
コラム 8 選択性と場面 どっち？
コラム 9 重複障害児（者）への支援の歴史的背景
コラム 10 学習の困難さに必要な支援を考える
コラム 11 虐待と発達障害
コラム 12 行動問題の理解と支援